

2025 年 11 月 7 日

昭和産業株式会社

2026 年 3 月期 第 2 四半期（中間期）決算の発表について

昭和産業株式会社（代表取締役社長執行役員：塚越英行）の 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結決算は、売上高 166,701 百万円、営業利益 6,054 百万円、経常利益 7,278 百万円となりました。2026 年 3 月期連結業績予想については、売上高 340,000 百万円、営業利益 11,000 百万円、経常利益 13,000 百万円を見込んでおります。

【2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結決算】

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が緩やかに改善しているほか、インバウンド消費の堅調な推移等により緩やかな回復基調となっております。

しかしながら、物価上昇による消費者の節約志向の一層の高まりや、原材料価格やエネルギー価格の高騰、物流コスト・人件費の増加に加え、米国の関税政策などの動向による世界経済への影響や長期化する不安定な国際情勢などもあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は創立 90 周年を迎える 2025 年度のありたい姿（長期ビジョン）「SHOWA Next Stage for 2025」の実現に向け、3rd Stage「中期経営計画 23-25」を 2023 年 4 月にスタートし、基本コンセプト『SHOWA の“SHIN-KA”宣言～90 年、そしてその先へ～』を掲げ、新たな財務指標とともに 5 つの基本戦略「①基盤事業の強化」「②事業領域の拡大」「③環境負荷の低減」「④プラットフォームの再構築」「⑤ステークホルダーエンゲージメントの強化」の各施策を推進しております。

当中間連結会計期間の経営成績は、連結売上高は 166,701 百万円と前年同期に比べ 1,881 百万円（1.1%）の減収となりました。営業利益は 6,054 百万円と前年同期に比べ 813 百万円（11.8%）の減益、経常利益は 7,278 百万円と前年同期に比べ 983 百万円（11.9%）の減益、親会社株主に帰属する中間純利益は 5,768 百万円と前年同期に比べ 1,817 百万円（24.0%）の減益となりました。

【2026 年 3 月期連結業績予想】

第 3 四半期以降も不安定な国際情勢、為替相場の動向、原材料価格及びエネルギー価格の高騰、物価上昇や物流コスト・人件費の増加など、当社グループを取り巻く経営環境は不透明な状況が続くものと予想されますが、2025 年 5 月 12 日に公表した 2026 年 3 月期（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）の連結業績予想につきまして変更はありません。

以 上

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>

昭和産業株式会社 企画部コーポレート・コミュニケーション室

TEL : 03-3257-2042 担当 : 関口